

外壁保護・改修工事に

外壁タイル・タイル目地の高耐久保護剤
高浸透型シラン系吸水防止剤

リストーン コートクリア



10年後もきれいなマンションであり続けるために 塗膜はつukらない!

私たちが暮らすマンションの外壁は、何十年もの間、夏の強い紫外線や厳しい冬の環境の中で常に風雨にさらされ続けます。そこに住む人々にとっては建物がいつまでも美しく、丈夫で、安心して住める場所であることは最も重要なことです。

洗浄作業後に外壁をきれいな状態に保つには最適な保護剤が必要ですが、現在でも「クリア樹脂の塗膜」施工がおこなわれる例があります。このクリア塗膜はタイルと目地を包み込むのと同時に汚れも塗膜内部に蓄積することになります。こうした塗膜の汚れは通常の洗浄作業では全く落とせないため、別途追加工事が必要になるケースがあります。紫外線による変色や剥がれの懸念もあります。

今、クリア塗膜に代わる保護剤が求められています。

私共は、タイルと目地への保護力が高く、なおかつ見た目を変えることのないリストンコートクリアをお勧めいたします。トラブルの原因となる塗膜自体をつくらず、深く目地に浸透するので持続性に優れ、長期に渡って建物を強固に保護します。モノマー系有機ケイ素化合物とシロキサン結合体(ケイ素と酸素)のベストバランス配合による、超浸透性と超耐候性を兼ね備えた次世代型コーティング剤です。ダブルの分子構造で従来製品よりも優れた浸透力を発揮します。

	従来のクリア塗膜タイプ保護剤	リストンコートクリア
塗膜	経年で変色する、剥がれ・めくれ発生	塗膜を形成しない高浸透型
見た目	色相の変化や不自然な光沢	無色透明、素材感を変えない
洗浄	塗膜内部に蓄積した汚れは洗浄が困難 高額な剥離工事が別途必要	通常の洗浄作業でOK

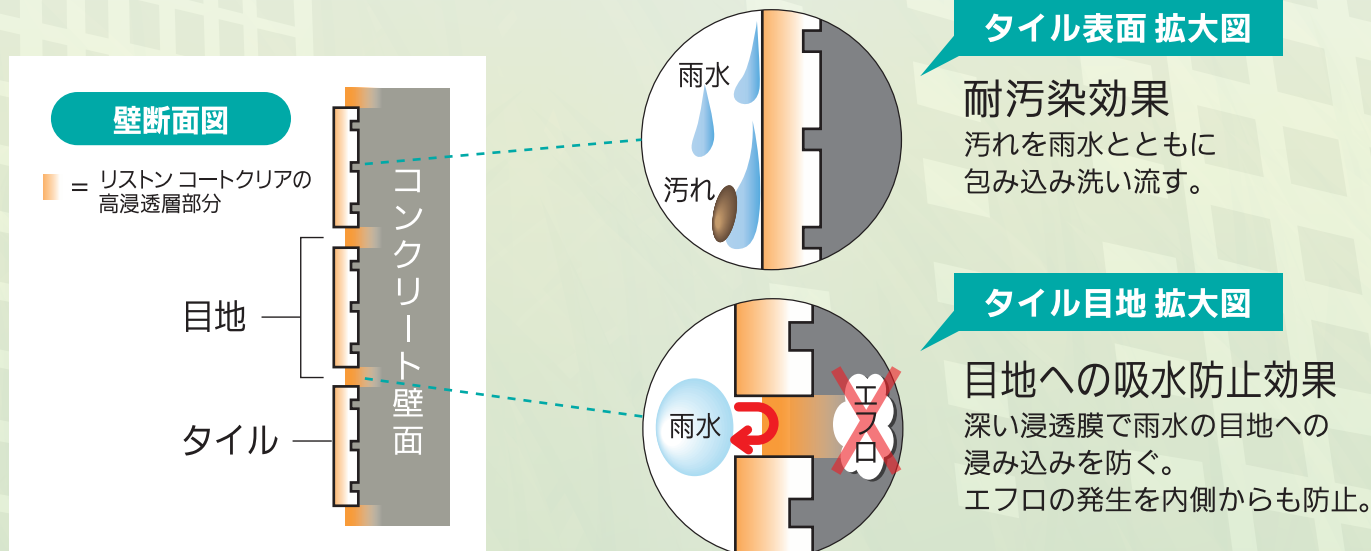
■ 施工箇所

外壁タイル・タイル目地・モルタル・コンクリート・レンガ・ブロック・吸水性の高い石材

■ 施工効果

酸性雨や排ガスによる汚れ・劣化・凍害・風化・エフロレッセンス(白華)・塩害を防止
高い吸水防止効果によりカビ防止・水の侵入防止による躯体内部の劣化防止

■ 浸透層形成のしくみ



剥がれない
めくれない
塗膜がない

素材本来の
通気性保持

浸透力は**5~7mm**
(JISモルタル)
業界トップレベル!

洗浄後の
美観の維持

優れた
防水性

施工しやすさ

・塗料に比較して弱溶剤を使用
・有害なホルムアルデヒドは
使用していません

長期耐久性

無機系コート剤以上
の耐久性能

超高浸透

超耐候性

施工の
メリット

汚れない

エフロの発生防止
躯体の中酸化防止

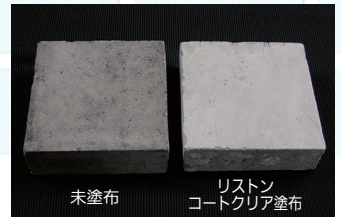
酸性雨

凍害

風化

塩害

耐候性試験(サンシャインカーボンアーク灯*による)



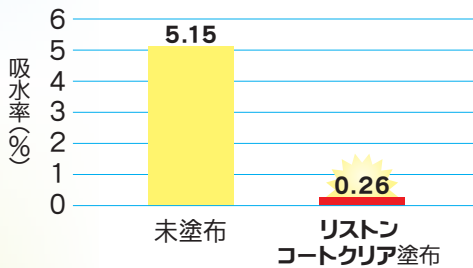
放射	0時間	1000時間	2000時間	3000時間
促進相関	0日	229.1日	458.3日	687.5日

*サンシャインカーボンアーク灯による促進耐候性試験は国内では標準的です。JIS、ISOをはじめ多くの規格に規定されています。長い試験実績があります。

- 試験体 モルタル全体の表面に標準塗布(0.2L/m²)を2回塗布後に7日間屋外にて乾燥したものを。
- 試験方法 紫外線波長は太陽光の数倍~数十倍であるサンシャインカーボンアーク灯による。放射照度は255w/m²とし放射200時間毎に100mlの水を噴霧した。

吸水試験

JISモルタルにおける吸水率試験



- 試験体 モルタル全体の表面に標準塗布量(0.2 l / m²)を2回塗布後に7日間乾燥したものを。

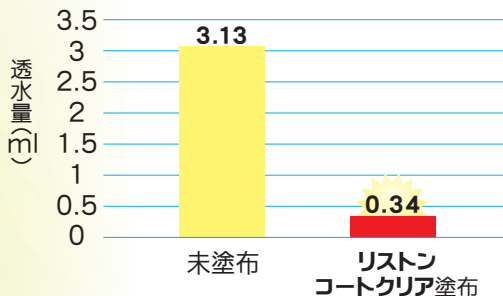
- 試験方法 未塗布の試験体とリストンコートクリアを塗布した試験体の重量を測定した。各試験体を水中に入れ、24時間経過後の重量を測定した。

- 算出方法

$$\text{吸水率}(\%) = \frac{\text{吸水時の重量}(\text{g}) - \text{乾燥時の重量}(\text{g})}{\text{乾燥時の重量}(\text{g})} \times 100$$

透水試験

JISモルタルにおける透水率試験

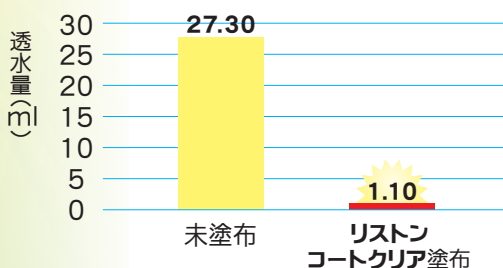


- 試験体 モルタル全体の表面に標準塗布量(0.2 l / m²)を2回塗布後に7日間乾燥したものを。

- 試験方法 試験体の塗布面と無塗布面にメスピペット(透水試験器具)を取り付け、上部よりイオン水を注入した。24時間経過後の透水量を測定した。

耐候性試験

JISモルタルにおける耐候性試験



- 試験体 モルタル全体の表面に標準塗布量(0.2 l / m²)を2回塗布し7日間乾燥した後、15か月間屋外に放置した。

- 試験方法 屋外放置後の透水量を測定した。試験体の塗布面と無塗布面にメスピペット(透水試験器具)を取り付け、上部よりイオン水を注入した。24時間経過後の透水量を測定した。

見た目・仕上がり感



施工前



施工中



施工後



3週間後、水掛け時の撥水の様子

標準塗布量

塗布方法: コテバケ・ローラー・刷毛		
磁器タイル	10~13㎡/ℓ	160~208㎡/1缶あたり
せり器タイル	5~10㎡/ℓ	80~160㎡/1缶あたり
レンガタイル コンクリート	5㎡/ℓ	80㎡/1缶あたり

リストーンコートクリア

- 16L/缶
- 重量13kg/缶

性状

外 観	無色透明液体
成 分	特殊複合シリコン化合物
溶 剤	第四種第2石油類
取扱い	火気厳禁
貯蔵性	8ヶ月 (30℃以下密閉状態で保管)



施工要領ガイド

- 施工対象物: タイル張り外壁マンション・打ち放しコンクリート等

1. テスト施工

本施工に先立ち、目立たない部分で下記の本作業に準じた方法で塗布し、色調の確認を行って下さい。

※タイルの種類によっては、若干色が濃くなる場合があります。

※溶剤タイプの為、確認は塗布直後ではなく、**2~3時間後**の状態で見極めして下さい。

2. 本作業

- ① リストーンシリーズの洗浄剤からタイルの汚れに適した洗浄剤で洗浄します。

※タイルと目地が濡れた状態で塗布すると吸い込みムラを起こしますので、完全に乾燥させます。

▶ リストンの洗浄剤についてはカタログ、Webサイト(restone.jp)を参照

- ② コート剤を塗布する際に、本液が掛かる部分はビニール養生をします。

※クリアタイプのため、塗布面が乾燥すると無塗布面と判別しにくいので、区画を決めた上で区画毎に塗布します。

- ③ 塗布: ローラーまたは刷毛を用いて標準塗布量を参考にしてコート剤を均一に塗布します。

※追いかけ塗りが可能ですが、**20分以内**に標準塗布量を施工して下さい。

※液溜まりになった場合はウエスで拭き取って下さい。

- ④ 自然乾燥: **6~8時間**は雨・水が掛からない様に養生します。

注意事項

- ・ テスト塗りを行い、吸込みの具合や仕上がりの確認を行ったうえで、本作業を行ってください。
- ・ ツヤのあるタイル面に塗布する場合は、虹彩が出る場合がありますので、塗布後、乾いたウエスで拭き取りを行ってください。
- ・ 外気温5℃~28℃の範囲で作業してください。
- ・ 気温が低い時はコート剤を吸込みにくくなりやすいので、規定量を2~3回に分けて塗布します。

- ・ 有機溶剤を含んでいるので火気厳禁です。
- ・ 換気に注意し、通風を確保し作業を行ってください。
- ・ 作業中はガスマスク、保護メガネ、ゴム手袋を着用してください。
- ・ 皮膚に付着した場合は、石鹸等で良く洗ってください。
- ・ 作業に使用した刷毛類はラッカーシンナーで洗ってください。
- ・ 塗膜を侵す場合がありますので、塗装面の周囲を作業する場合は、養生を行ったうえで作業してください。
- ・ 施工前にMSDSをよく読み、施工要領ガイドに従って施工してください。

素材をきれいに
復元する **コートウエット** もあります。
コートスーパー



Copyright(C)2015 KYOEI Inc. All Right Reserved.



株式会社 **共栄**

〒174-0065 東京都板橋区若木1-8-22

TEL ■ 03-3934-8771

FAX ■ 03-3934-9753

E-mail ■ kyoei@space.ocn.ne.jp

URL ■ restone.jp

リストーン 共栄

検索